

# 特集「川崎市・瀋陽市(中国)友好都市提携30周年記念」

## 30年の友好の絆を確かめ合って

川崎市長 阿部 孝夫

1981年8月に、川崎市と瀋陽市は友好都市の提携を行って以来、文化、経済、医療、スポーツなど幅広い分野で交流を進めてきました。近年では、環境分野を中心とする交流が深まり、過去の公害問題を克服する過程で川崎に蓄積された環境技術やノウハウを活かした様々な協力関係を構築しています。

瀋陽市との友好都市提携30周年を記念した今回の瀋陽市訪問では、川崎市内企業で構成する企業訪問団や川崎市民による市民交流団の総勢約70名とともに、瀋陽市との交流を深めることができ、大変嬉しく思っております。

次の40周年、50周年に繋がる両市の永続的な友好が益々深まり、また、両市の市民が互いの友情を育み、親善を深めていくことを願っています。



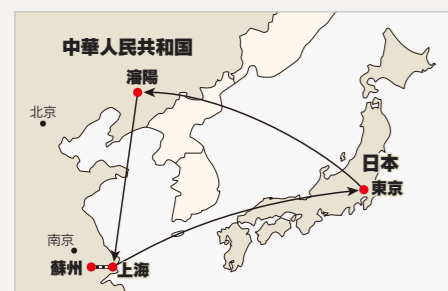
### 2011年5月 瀋陽市代表団 川崎訪問

本年5月、陳海波瀋陽市長はじめ、瀋陽市代表団が川崎を訪問し、市役所庁舎で友好都市提携30周年記念調印式が行われました。代表団は、瀋陽市の景色を集めて再現された中国式庭園「瀋秀園」(大師公園内)も訪れ、新緑の中でひとときを過ごしました。

陳市長は、公害を克服した川崎の経験に触れた



上で、実際に訪問してみてもきれいな街だとの感想を持たれ、阿部市長とは、今後のさらなる環境・経済・教育分野での交流、信頼関係の発展を確認したのち、川崎をあとにされました。



### 交流団に参加して 市民交流団 副団長 北村 清さん

二度目の訪中でした。今回は、市民交流団の一員として瀋陽・上海・蘇州を巡りました。

34年ぶりに見た中国の変貌は、想像以上でした。瀋陽にも上海にも高層ビルが林立し、街には車が溢れていました。路上を歩き交う人々の表情も明るく伸びやかで、発展著し

い中国の姿を至る所で目にすることができました。

瀋陽市長主催の歓迎祝賀会は、何と盛大だったことでしょう。2日目に交流した雑技団の子どもたちの演技にも驚嘆しましたし、瀋陽音楽院生の巧みな演奏にも魅せられました。

上海のナイトクルーズ、蘇州の運河巡りも忘れ難いです。そして嬉しいことに、日を追うにつれて団員の交流も深まり、楽しい中国の旅を満喫することができました。

再見、中国!

日次	月日(曜日)	地名	行程
1	8/30 (火)	東京(成田)発 瀋陽 着	空路3時間半
2	8/31 (水)	瀋陽 陽	両市交流プログラム、歓迎会 故宮博物館(世界遺産)など観光
3	9/1 (木)	瀋陽 陽	瀋陽市内観光 (博物館、瀋州鉄道ゆかりの鉄路局など)
4	9/2 (金)	瀋陽 陽 発 上海 着	上海市内観光 (上海環球金融中心、ナイトクルーズなど)
5	9/3 (土)	上海 蘇州 着	世界遺産の街・蘇州観光 上海雑技団観覧
6	9/4 (日)	上海(虹橋)発 東京(羽田)着	空路2時間50分

8月30日から、(財)川崎市国際交流協会企画の川崎市市民交流団が瀋陽市を訪問しました。1日目は、阿部市長、市議会議長他の市代表団、企業連合団と一緒に、瀋陽主催の30周年記念式典・祝賀会に、2日目には瀋陽音楽学院の歓迎コンサート等公式訪問にも参加しました。さらには、雑技団養成学校で本番さながらの練習風景を見て、少年少女の柔軟かつ力動感あふれる妙技に感嘆の声を上げ、交流団からはお手玉などの日本の遊びや歌の一端を披露し、ひととき子どもたちとの交流を楽しみました。



▲瀋陽市の世界遺産の前で記念撮影

## 中国・瀋陽市訪問 川崎市民交流団

市民交流団に参加した3名に伺いました。(K:向後さん、O:岡本さん、B:畢さん)



中国の素顔と出会えて、有意義な旅でした。～瀋陽市との友好30周年の歩みに学びました。～  
団長:梅原 英毅

### Q1 市民交流団に参加した動機について

K:パンフレットを見て、ぜひ中国の人達と交流してみたい、中国東北地区最大の重工業都市・瀋陽の発展も見たいと思いました。

O:妻の希望もあり、妻の生まれた都市・その両親が若い頃過ごした奉天(瀋陽)を見たいと思いました。

B:私のふるさとだ! どんな交流をするのかしら? 子どもたちや夫に世界遺産や瀋陽のすばらしさを見せたいと思い、家族全員で参加しました。

K:私もBさんと朝の散歩に行った時、朝早くから大勢の人々が太極拳、合唱、踊り…様々なことをしていました。コンクリートに水筆で書道をしている方が筆を貸してくださったので、「中日友好萬歳」と書きました。周囲の方々が拍手をくださった時、気持ちが通じた感激しました。

B:あの時は感動して、日中友好の気持ちでいっぱいになりました。素晴らしい体験でした。

### Q2 瀋陽市の印象について

K:想像より遙かに国土が広く、ビルの建築ラッシュで町全体のエネルギーを感じました。

O:20~30年前の日本のようにエネルギーで、これからの経済発展を感じます。交通量の多さにはびっくり!しかし、歴史も大事にしており、世界遺産「故宮博物館」や「北陵公園」があり、喧噪の中にも落ち着いた印象がありました。

B:来年の「全国スポーツ大会」瀋陽開催に向けて、地下鉄や道路が整備・拡大され、町全体がきれいになっていました。



▲瀋陽市による歓迎レセプション

### Q3 瀋陽の方々との交流はいかがでしたか?

K:瀋陽市主催の歓迎会は盛大に行われ、温かい歓迎をしていただきました。

O:ホテルの近くの公園を散策中に道に迷った時、果物屋さんから丁寧に案内していただきました。とてもいい思い出です。

### Q4 市民交流団として参加したご感想は?

K:観光目的の海外旅行では味わえない充実感がありました。参加者の親善という意識が大きかったと思います。

B:交流団の皆さんと別れる時には涙が出ました。

O:スケジュールに工夫が感じられました。

K:市民として、機会があれば参加をお勧めしたいです。人と人とのつながり、積極的な交流、交流の積み重ねやその大切さを考えることができていました。



▲蘇州の刺繍研究所を見学

(取材・文:編集ボランティア 相沢明子・福地直子)